



第4回上田八木・金融政策サーベイ(2016年6月)の結果について

～6月決定会合で「不変」予想が90%に上昇

発表日：2016年6月14日(火)

上田八木短資株式会社

【調査の概要】

調査方法	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(204先)
調査方法	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2016年6月9日～13日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	98.5 % (回答者数201 先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

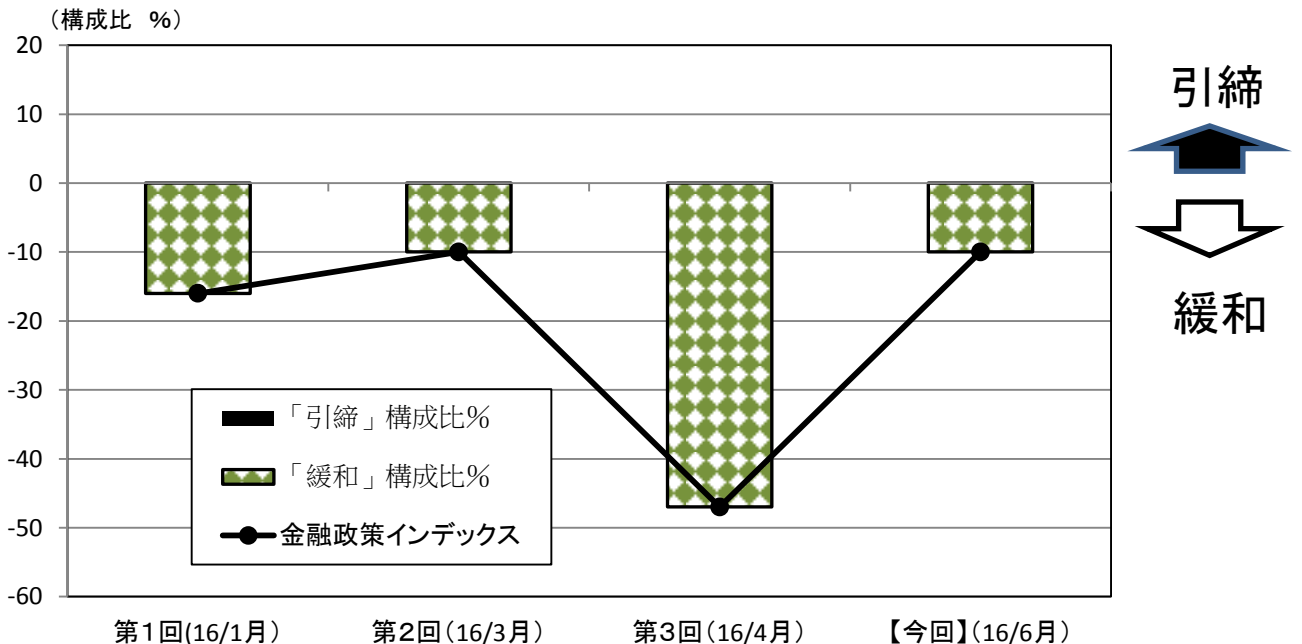
(Q1)日本銀行の次回の金融政策決定会合(6月15～16日)における決定について

回答者全体の90%が「不変」とみている。「緩和」とみる先は10%だった。「引締」を予想する先はなかった。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、▲10と、前回対比+37%ポイントの上昇となった。

前回(4月調査)との比較では、「不変」とみる先が+37%ポイント、「緩和」が▲37%ポイント。

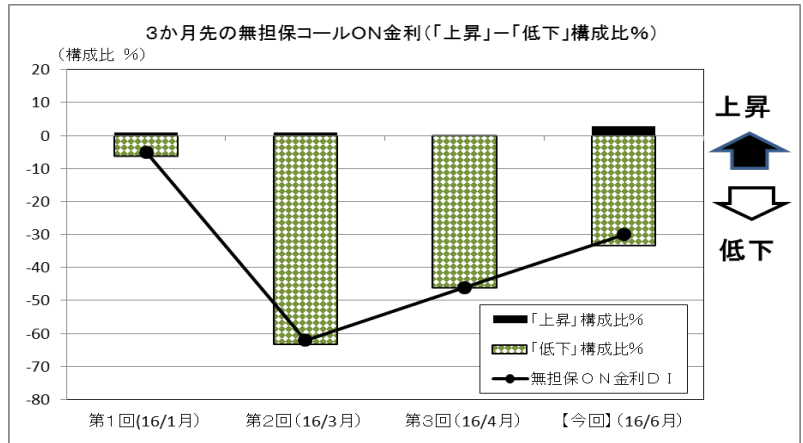
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の33%が「低下」を予想。「不変」の先は64%、「上昇」とみている先は3%だった。

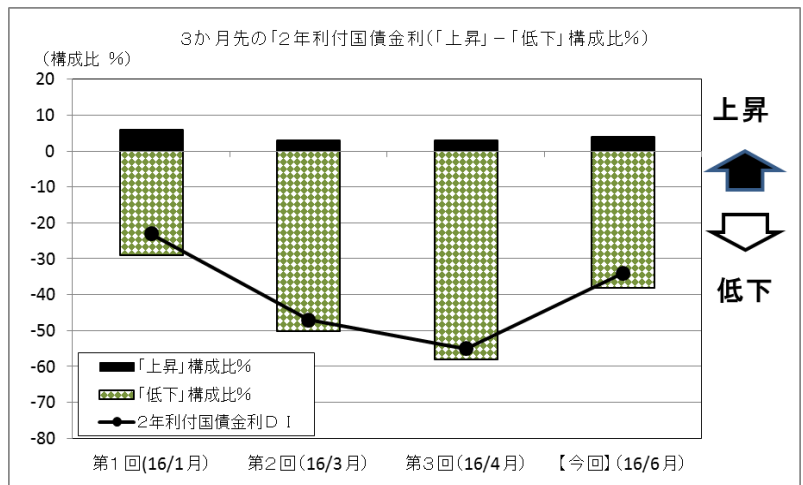
前回(4月調査)との比較では、「低下」とみる先は▲13%ポイント(前回46%→今回33%)。「不変」とみる先が+10%ポイント(前回54%→今回64%)。「上昇」とみる先が+3%ポイント(前回0%→今回3%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の38%が「低下」を予想。58%が「不変」とみている。「上昇」を予想した先は4%であった。

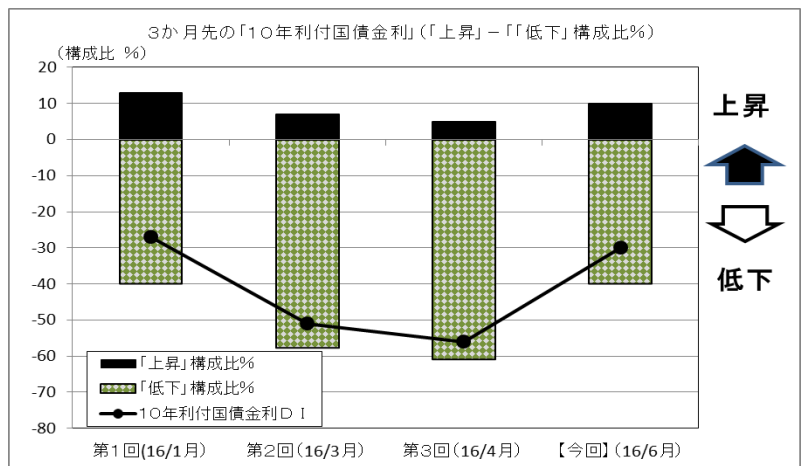
前回(4月調査)との比較では、「低下」とみる先が▲20%ポイント(前回58%→今回38%)。「不変」とみる先が+19%ポイント(前回39%→今回58%)。「上昇」とみる先は+1%ポイント(前回3%→今回4%)。



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の40%が「低下」を予想。50%が「不変」とみている。なお、「上昇」を予想した先は10%であった。

前回(4月調査)との比較では、「低下」とみる先が▲21%ポイント(前回61%→今回40%)。「不変」とみる先は+16%ポイント(前回34%→今回50%)。「上昇」とみる先は+5%ポイント(前回5%→今回10%)。



【本調査に関する照会先】

企画部 島本、酒井 (電話 03-3272-0293)